

フィンドレー大学への協定校留学 11月分報告書

留学先大学；フィンドレー大学

氏名；高橋光子

【はじめに】

今回は、サンクスギビングについてお伝えしたいと思います。

【サンクスギビング】

サンクスギビングブレイクの期間に、ミシガン州出身の友達の家滞りさせてもらいました。サンクスギビングはアメリカではとても特別な家族の行事です。日本のお正月に似た行事となります。11月22日の授業後から、11月27日まで友達の家に滞りました。11月22日の授業後に大学を出発し、家に着いてからは、夜遅くまで家族でボードゲームやカードゲームなどを楽しみました。11月23日には、次の日のサンクスギビングの準備をしました。ダウントウンに行き大量の食材を買ったり、ミシガン州でとても有名なミシガン大学のフットボールスタジアムにいったり写真を撮ったりしました。帰宅後に、サンクスギビングの食事を作る手伝いをしました。クランベリーソース、スイートポテト、スタフィング、サイドディッシュ、洋ナシのパイを作る手伝いをしました。サンクスギビングの料理を作るための買い出しや、料理はなかなか経験できないことなのでとても貴重な経験をさせていただきました。11月24日のサンクスギビングの日には、友達の祖父母の家に行きました。親戚が私たちを含めて15人ほど集まっていたので、初めは、とても緊張していましたが、彼らがとてもやさしく受け入れてくれたので、逆にリラックスすることができました。着いたらすぐに、サンクスギビングの日のアメリカで恒例のフットボール観戦をしました。日本でお正月にマラソン観戦をするのに似ているなと思いました。その後、おばあちゃんが毎年大切にしているというプレゼントタイムが行われました。家族の一員ではない私にまでクリスマスのオーナメントのプレゼントをくれて、とても素敵な家族だなと感じました。サンクスギビングの食事は、テレビや雑誌で見たことがあるとても豪華な食事でした。特に、ターキーの丸焼きは圧巻の大きさでした。みんなでテーブルを囲んで食べる食事は、日本にいたときの家族団らんを思い起こしました。その感謝の気持ちを込めて、祖父母にサンクスギビングカードと折り鶴を渡すと大変喜んでくれました。私を家族の一員のように受け入れてくれたことにとても感動しました。これもアメリカ文化の素敵どころだなとしみじみと感じました。友達のおかげで、留学中にやりたいことのひとつが叶いました。

【おわりに】

今回は、ウィンターブレイクに入るので、旅行についてお伝えしたいと思います。

サンクスギビングの時の写真（友達の祖父母の家）

